

産地の総合芸術祭 「クタニズム」

KUTANism

とき 12月20日(日)まで

参加費 無料

オンライン開催

伝統工芸「九谷焼」の魅力を世界に発信することを目的に、小松市と能美市が連携して開催するオンラインミュージアム「KUTANism(クタニズム)」。クタニズムのホームページで、九谷焼作品の鑑賞や購入などを自宅から気軽に楽しむことができます。



▲KUTANism
ホームページ

▶NEXT 九谷 Vol. II - 物語る色と形 -

九谷焼の新たな価値創造に挑む作家43人の意欲作を紹介します。

▶秋元雄史がゆく、九谷焼の物語。

東京藝術大学美術館館長の秋元雄史さんと九谷焼の作り手・使い手が対談します。

そのほか、映画監督・森義隆さんによる九谷焼をひも解くショートフィルムの公開など、多彩なコンテンツが満載!

問い合わせ クタニズム実行委員会事務局(観光文化課内) ☎24・8130

埋蔵文化財センター

原町ト77-8 ☎47・5713

◎市制80周年・八日市地方遺跡発見90年記念特別展「八日市地方遺跡90年の歩み」

とき 12月6日(日)まで

河田山古墳群史跡資料館

国府台三丁目64 ☎47・4533

◎企画展「小松と能美の平野を見渡す古墳群」

とき 12月13日(日)まで

博物館

丸の内公園町19 ☎22・0714

◎特別展「前田利常公の足跡〜小松城ものがたり〜」

とき 11月23日(月)祝日まで

◎常設展「こまつの石」

こまつ石文化などを紹介します。

錦窯展示館

大文字町95-1 ☎23・2668

◎企画展「徳田八十吉の文様」

とき 11月29日(日)まで

本陣記念美術館

丸の内公園町19 ☎22・3384

◎市制80周年・開館30周年特別展 世田谷美術館コレクション「北大路魯山人の茶のこころ〜器から読みとる茶の美意識〜」

とき 12月6日(日)まで

◎関連イベント

①「魯山人先生へ わたしのアレンジ〜器と料理〜」写真募集

料理やお菓子をお気に入りの器に盛りつけた写真を募集します。応募者には宮本三郎美術館内カフェでオリジナルクッキーをプレゼントします。

募集期間 11月14日(土)まで

応募方法 写真(A3サイズ以内)にコメントを添えて、氏名・住所・電話番号を記載の上、郵送またはメール。

応募先 本陣記念美術館 〒923-0903 丸の内公園町19 ☎honjin@city.koma.tsu.lg.jp

②「魯山人先生へ わたしのアレンジ〜器と料理〜」写真展

期間中にカフェで飲み物を注文した人は、オリジナルクッキーを宮本三郎デザインの器でサービスします。

とき 11月21日(土)〜28日(日)

ところ ギャラリーカフェ・キャトルセゾン(宮本三郎美術館内カフェ)

◎学芸員によるギャラリートーク

とき 11月21日(土)11時〜、14時〜

宮本三郎美術館

小馬出町5 ☎20・3600

◎市制80周年・開館20周年特別展「宮本三郎展〜リアリストの軌跡〜世田谷美術館収蔵品より」

とき 12月6日(日)まで

◎学芸員によるギャラリートーク

とき 11月28日(土)11時〜

宮本三郎ふるさと館

松崎町16-1 ☎43・3032

◎市制80周年・開館40周年特別展「宮本三郎 人間群像への道〜世田谷美術館収蔵品を交えて〜」

とき 12月6日(日)まで

◎学芸員によるギャラリートーク

とき 11月28日(土)14時〜

図書館

丸の内公園町19 ☎24・5311

◎11月の展示コーナー

①いい夫婦の日

11月22日はいい夫婦の日。おすすめの本を集めました。

②恐竜の仲間たち

恐竜の仲間や化石についての本を紹介いたします。

③秋冬のハンドメイド

おうち時間で手作りを楽しもう。

南部図書館

島町ヌ43 ☎43・1222

◎雑誌リサイクル会

保存期間切れの雑誌をお譲りします。

とき 11月7日(土)、8日(日)10時〜16時

参加費 無料

空とこども絵本館

小馬出町10-3 ☎23・0033

◎11月の松居直コレクション

こどものとも28号「でてきて おひさま」を紹介します。

◎よんでよんで

とき 11月23日(月)祝10時〜16時

◎おはなし会「いろんな色集まれ」

とき 11月23日(月)祝10時30分〜10時50分

定員 20人(先着順)

参加費 いずれも無料

登窯展示館

八幡己20-2 ☎47・2898

◎企画展「干支展〜丑〜」

来年の干支「丑(うし)」をテーマにした九谷焼の作品を展示します。

とき 令和3年1月24日(日)まで



※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが変更・中止になる場合があります。最新情報は市ホームページまたは各施設へお問い合わせください。



カブッキーポイント対象施設：博物館、本陣記念美術館、宮本三郎美術館、埋蔵文化財センター

令和2年度 小松市指定文化財

■前田利常画像(絵画)

前田利常公の画像として伝わる肖像画で、右斜めを向く束帯姿を描いています。自身が復興に携わった那谷寺に伝来したもので、石川県内に所在する唯一の前田利常画像であり、その意味でも貴重な作品と言えます。【所有者・管理者 那谷寺(那谷町)】



前田利常画像

■前田利常公灰塚(史跡)

1658(万治元)年、小松城で亡くなられた前田利常公を火葬した地に、その遺灰を集めて造られた塚です。かつては外周に堀を巡らせた一辺約30mの方形区画を形成し、堀内側に土塁を巡らせ、その中央に幅約15m、高さ1.5m以上の塚を築いていました。現在、過去の開発により改変された部分はありますが、加賀藩主灰塚の遺存例として重要な史跡です。

【所有者・管理者 小松市】



前田利常公灰塚(河田町)
(石川県埋蔵文化財センター提供)

■来生寺の青磁三具足(附共箱表蓋)(工芸品)

1825(文政8)年の来生寺経蔵建立に際し、藩宮若杉陶器所の細工人木越八兵衛、轆轤師本多清兵衛によって製作・寄進された青磁三具足です。外底部に「若杉製」、うち2点には更に紀年銘と製作者名が刻まれています。文政期の若杉陶器所を代表する青磁の逸品であり希少な作風を示す資料として評価されます。

【所有者・管理者 来生寺(園町)】



(左上)花瓶、(左下)香炉、(右)燭台

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8130